

平成 29 年度 第 2 回

奥秩父の冬の名勝「三十槌の氷柱（みそつちのつらら）」、 宝登山ロウバイ見学（長瀬で食事） バス旅行

日 時：平成 29 年 2 月 17 日（金）武蔵藤沢駅 8 時 00 分集合 快晴・暖か

参加者：27 名

見学場所及びコース：

武蔵藤沢前 8:05⇒圏央道入間インター⇒圏央道⇒関越道⇒（トイレ休憩 SA 15 分）⇒花園インター⇒三十槌のつらら⇒昼食処【長瀬、有鱗倶楽部】⇒宝登山神社⇒宝登山・ロープウェイ山麓駅乗車⇒宝登山散策⇒宝登山・ロープウェイ山頂駅乗車⇒埼玉県立自然の博物館⇒長瀬⇒野上下郷石塔婆⇒花園インター⇒関越道⇒圏央道⇒入間インター⇒武蔵藤沢駅到着（18:10 頃）（解散）

今回のバス旅行は健康大学の皆さんとのジョイントとなりバスの定員 28 名がほぼ満席で、晴天にも恵まれ、氷柱がたちまち溶けるような陽気で昨年と同様に今年も駄目かと思いましたが、氷柱は無事に見ることが出来ました。おまけに氷が解けて氷柱の崩れ落ちる音も偶然に聴けました。昼食は長瀬有鱗倶楽部で、ランチの天婦羅御膳に舌鼓を打ち、宝登山の蠟梅も盛りは過ぎていましたが、十分に楽しむことも出来、帰りのバスの車内では戸村さんの進行でサラリーマン川柳と世相を反映する四字熟語のクイズを楽しみ、ボケない替え歌を唄い大いに盛り上がり楽しみつつ、出発地に無事戻りました。居田 記



・写真左：今年の天然氷の氷柱
・写真右：2012 年の同じ位置の氷柱
今年陽気のせいが大分規模が小さくなっているようでした。



・写真左：氷柱が崩れる前の氷柱の全景
・写真右：氷柱が崩れ落ちた後の全景
・小写真：崩れ落ちた氷柱



宝登山の蠟梅
・写真左：今年の蠟梅
・写真右：宝登山のホームページから今年の開花状況は時期が過ぎている感じがしました。

参加者の感想・コメント

感想・コメントをいただいた方の名前は伏せさせていただきました。また一部文章を割愛させていただきます

■ お天気に恵まれすぎ、食事もおいしくいただき最高の一日でした。行いの良い皆さんに感謝です。久しぶりにお会いした方とも話ができて良かったです。

■ 天候に恵まれ、2年越しの計画が実現できて良かったです。三十槌の氷柱を見るのは、初めてで、最盛期はもっと壮大だという説明でしたが、この日に限り4月頃の暖かさということで大きな氷柱がドサッと落ちるのを目の当たりに見ることができたのは、これもまた、一期一会。私は秩父の宝登山神社は毎年、初詣で訪れ、ゴルフでも、秩父界隈は年に何回も行きますが、約1700万~1500万年前は海だったとは、恥ずかしながら、知りませんでした。太古の海生哺乳類「パレオパラドキシア」の化石くじらや千手サワラの骨を見て、ただ驚くばかり。地学展示ホールではきらきら光る鉱物を見て宝石の材料？高そう！なんて現実的な思いが千々。地層のことは、あまり太古すぎて、ピンときませんでした。たまたま昨日2月18日の日本経済新聞の埼玉版に「埼玉県立博物館 秩父の海泳いだ化石」という記事がでていました。近くにある「前原の不整合」「取方の大露頭」「ようばけ」の3ヶ所で、化石と地層が露出したがけで地殻変動による海の変遷のストーリーがわかるという記事でした。ここも、含めて博物館の庭のカエテが紅葉する頃に訪ねてみようと思いました。

■ 穏やかな天候の下、氷柱めぐり、史跡めぐり、花めぐりを同時に楽しむことが出来、大変有意義で充実した一日でした。有難うございました。

■ バス旅行ではお世話になりました。埼玉県で氷柱を春一番の天候の日に見物したこと、蠟梅を汗をかきながら愛でたこと、秩父の海を、手足のあるジュゴンのような生物が泳いでいた！？天然記念物の化石、地層、岩石が解りやすく展示されていた県立自然博物館。どれも初めてのことで驚き、興味のある例会でした。翌日の日経新聞に“ぐるっと首都圏”コーナーに埼玉県立自然博物館の紹介が載っていました。普段だと見逃していたであろう記事が今回のことで新たな興味が沸きました。

日南弁 その2.

今日は秩父さめに行ったちゃが。でげ いい天気やった。ところ会はあっちさめ、こっちさめ行くちゃわ。バスで行ったちゃけど、帰りに飲みかたがはじまっち、まこち賑やかになった。

■ 天候に恵まれ、楽しみにしていた三十槌の氷柱を見ることができました自然は透明、人工は白くなる氷柱の違いがよく分かりました。たくさんの氷柱の素晴らしさにシャッターを押しました少し溶けてしまっているとのこと残念でしたが満足でした。

■ 私は腰の調子が悪く、それぞれつぶさに見物出来た訳ではありませんが、テーブルの中では席を譲っていただいたり、どなたか存じませんが危ないところを腕を抱えて助けていただきました。有難うございました。おかげさまで楽しい旅行が出来ました。居田さんの集合写真も山本さんの写真も大変良く撮れています。有難うございました。

■ 氷柱というものは随分昔に小樽の運河沿いで見たのが最初。今回は自然の中での経験だったので、インパクトが十分でした。
三十槌の轟き落つる氷柱かな

■ 特に印象深いのは、三十槌の氷柱でした。17日は暖かいために、溶け出して 大きい氷柱が崖から物すごい音とともに落下する様子は迫力があり見どころ満点でした。秩父にもまだまだ知らない所がありますね。次回の旅行を楽しみにしております。

無事に2月例会終わりました。会員の皆様健康に気を配りながら、今年も1年間頑張りましょう。 居田

